



布団の山が
町を練り歩く！

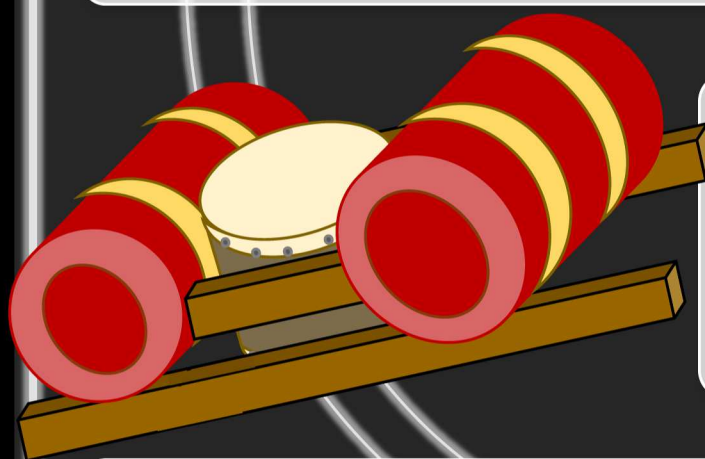


大阪・兵庫の夏祭

夏の風物詩「祭」。日本全国には様々な特色を持った祭りが古くから存在しています。地元大阪・兵庫の祭りの伝統について紹介します



大阪・兵庫の夏祭りでは、上に大きな布団が乗った神輿みこしが練り歩き、盛り上がりを見せます。これはふとん太鼓と呼ばれるものです。ふとん太鼓は、大阪府河内かわち・泉州地方や、兵庫県播磨・淡路とその周辺で担がれる大型の太鼓台で、布団だんじりや布団神輿などとも呼ばれます。



布団があれば枕もあります。枕太鼓といわれ、屋根や周りの柱が無く、前後に枕を模したものがついているのが特徴です。主に大阪の祭りで見ることができます。

太鼓を叩くことには邪気を祓はらうという意味があり、全国の祭りでも様々な特色ある太鼓が活躍します。祭りの際は花火や屋台だけでなく、太鼓に注目するのも面白いかもしれません。